

第1号議案 令和4年度事業報告書・計算書類及びその附属明細書
並びに財産目録の承認について
事業報告書
(第55回)

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

1. 事業概要

令和4年度は、甚大な被害を受けた東日本大震災から12年が経過し、復旧整備された圃場では新たな園芸振興が行われ、生産の安定化が図られている。

一方で、昨年からの地政学的な事象の発生から燃油高等による生産資材の高騰で園芸農家の生産コスト上昇に大きく影響し、青果物を取り巻く環境は激変した。

消費動向は、円安と食品の値上げなどにより国内消費は一時停滞したが、コロナ禍で落ち込んでいた観光事業や外食や給食の再開もあり業務需要も徐々に回復した。また簡便化ニーズの高まりを受けて、家庭用としてカット野菜の需要は定着し、さらに冷凍野菜の需要も大きく伸張した。

一般青果物価格補填事業への加入促進の取組みでは、水田における園芸作物への作付転換による生産拡大を見据え、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」の戦略品目と全農宮城県本部の生産振興品目を加えた計10品目を「生産拡大品目」として位置づけ、令和5年度から令和7年度を対象期間として、補給金交付率の引き上げを行い、園芸農家の作付維持・拡大および新規生産者の確保を目的に制度の見直しを行った。

8月に開催された宮城県園芸振興大会では、生産者向け加入案内チラシを出席者に配布し、加入促進に努めた。また、令和3年度に引き続き、生産者の事務負担金が減免される県の一般青果物価格安定対策加入促進事業を活用し、品目では、たまねぎ(36ト)、えのきたけ(407ト)は予約申込数量が増加に転じたが、全体では前年を23ト下回る予約数量となった。

一般青果物の補給金の交付状況は、昨年度を大きく下回る12,843千円を交付した。7月中旬の集中豪雨による露地品目の出荷量減少や果菜類は燃油高の影響もあり年内の出荷量は伸び悩み、市場価格は安定した推移が続いたため、基準価格を上回る推移となった。秋冬期の11月から12月には、葉物類を中心に基準価格を下回り、全体の62.5%を占める8,011千円の補給金が交付されたが、年間を通して見れば、比較的安定した相場展開となった。

2. 青果物の取扱実績

令和4年度の全農宮城県本部の青果物取扱高は、12,294百万円(前年比99%)となった。

品目別では、野菜計(菌茸含む)は数量24,359ト(前年比88%)、金額7,315百万円(前年比97%)の取扱となった。主力のきゅうりは、数量6,430ト(前年比92%)は前年を下回り、価格(前年比105%)は前年を上回ったものの、金額(前年比97%)では前年を下回った。

果実は、数量3,993ト(前年比103%)、金額4,225百万円(前年比103%)、うちイチゴは、数量3,100ト(前年比96%)、梨は、開花期の低温で収量減となった昨年を大きく上回る596ト(前年比197%)の出荷量となり、果実全体の取扱高を押し上げた。

3. 補給金の交付状況および交付実績について

生産農家の経営安定と再生産の確保等を図るため、卸売市場の販売価格が著しく低迷した品目について「一般青果物価格補填事業」で17品目(前年19品目)、「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」は2品目(前年はなし)が交付対象となった。

また、受託事業の「指定野菜価格安定対策事業」は5品目(前年6品目)について補給金交付対象となった。

(1) 一般青果物価格補償事業 …… 表1

- ① 交付額合計は、12,843,502円(前年比31%)で、交付予約数量8,001.1ト(前年比95.3%)に対し、交付対象数量806.2ト(前年比43.8%)となった。
- ② 野菜は、交付順に「こまつな」「ちんげんさい」「ほうれんそう」「ブロッコリー」「きゅうり」等が交付対象となり、上位2品目で交付額の41%を占めた。

(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 … 表2

交付対象品目は2品目となり、交付付額は、ほうれんそう23,619円、しゅんぎく17,913円が交付された。

(3) 受託事業

ア. 指定野菜価格安定対策事業 … 表3

- ① 交付額合計は、870,000円(前年11,734,000円)で交付予約数量4,727ト(前年4,819ト)に対し、交付対象数量260ト(前年694ト)となった。
- ② 交付対象品目は、春キャベツ、夏秋キャベツ、秋冬ねぎ、ほうれんそう等が対象となった。

イ. 大規模契約栽培産地育成強化支援事業(旧端境期等対策産地育成強化支援事業)

- ・補助金(事務費)の受入:241,700円(令和4年4月8日)
- ・支援事業対象品目:たまねぎ

ウ. 野菜価格安定事業適正化推進

- ① 野菜の生産出荷等状況調査 … 夏秋トマト(東松島市)、ほうれんそう(涌谷町)きゅうり(蔵王町)
 - ・現地調査回数:年4回(各品目)
- ② 事業の普及にかかる説明会の開催 … 野菜制度説明会:年1回(8月27日)

表 1 一般青果物価格補償事業

対象月	補給金額 (円)		前年比 (%)	対象品目	品目数	交付年月日
	R 3 年度	R 4 年度				
4 月	2, 224, 148	468, 312	21. 1	こまつな、レタス、ねぎ	3	R4. 6. 20
5 月	1, 435, 906	398, 717	27. 8	ねぎ、ブロッコリー	2	R4. 7. 21
6 月	998, 860	142, 413	14. 3	きゅうり	1	R4. 8. 22
7 月	5, 555, 785	720, 860	13. 0	きゅうり、えのきたけ	2	R4. 9. 21
8 月	2, 688, 735	653, 960	24. 3	えのきたけ、えだまめ	2	R4. 10. 21
9 月	1, 029, 060	1, 678, 025	163. 1	こまつな、ちんげんさい、えのきたけ、みず菜、ほうれんそう、かぼちゃ	6	R4. 11. 21
10 月	11, 499, 987	505, 106	4. 4	こまつな、ゆきな	2	R4. 12. 21
11 月	9, 825, 878	5, 122, 170	52. 1	ちんげんさい、こまつな、こねぎ、しゅんぎく、ブロッコリー、ほうれんそう、ゆきな、きゅうり、レタス、みず菜、はくさい	11	R5. 1. 20
12 月	5, 524, 716	2, 889, 144	52. 3	こまつな、ちんげんさい、ほうれんそう、ブロッコリー、ゆきな、キャベツ、みず菜、トマト	8	R5. 2. 21
1 月	48, 550	234, 526	483. 1	ゆきな、はくさい、ねぎ	3	R5. 3. 18
2 月	2, 040	0	-		0	-
3 月	0	30, 269	-	こまつな、ゆきな	2	R5. 5. 19
合計	40, 833, 665	12, 843, 502	31. 5		17	-

表 2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象品目	対象出荷期間	補給金額 (円)		前年比 (%)	R 4 年度 交付年月日
		R 3 年度	R 4 年度		
ほうれんそう(東北)	R4 年 10 月 1 日～12 月 31 日	0	0	-	
ほうれんそう(東北)	R5 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	23, 619	-	R5. 5. 19
しゅんぎく (東北)	R5 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	17, 913	-	R5. 5. 19
しゅんぎく (関東)	R5 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	0	-	
合計		0	41, 532		

表3 指定野菜価格安定対策事業

業務区分				補給金額 (円)		R4年度 交付年月日
対象品目	対象出荷期間	対象市場	産地区分	R3年度	R4年度	
冬春きゅうり	5月～6月	東北	I	0	0	
		東北	III	0	0	
		関東	I	0	0	
春キャベツ	5月～6月	東北	I	6,000	84,000	R4.9.1
		関東	I	0	12,000	R4.9.1
ほうれんそう	4月～6月	東北	I	0	0	
夏秋きゅうり	7月～9月	東北	I	0	0	
		関東	I	5,936,000	0	
夏秋トマト	7月～9月	東北	I	72,000	0	
夏秋トマト	10月～11月	東北	I	17,000	6,000	R5.1.26
夏秋キャベツ	7月～10月	東北	I	109,000	2,000	R4.12.22
		関東	I	94,000	20,000	R4.12.22
夏秋なす	7月～9月	東北	I	0	7,000	R5.1.26
夏秋なす	10月～11月	東北	I	261,000	0	
ほうれんそう	7月～9月	東北	I	24,000	0	
秋冬ねぎ	10月～12月	東北	I	4,724,000	528,000	R5.2.24
秋冬ねぎ	1月～3月	東北	I	448,000	107,000	R5.5.25
ほうれんそう	10月～12月	東北	I	43,000	104,000	R5.2.24
ほうれんそう	1月～3月	東北	I	0	0	
冬春きゅうり	3月～4月	東北	I	0	0	
事業計			東北	5,704,000	838,000	
			関東	6,030,000	32,000	
			計	11,734,000	870,000	

表4 参考 年次別補給金推移

年度	補給金額 (円)		
	一般青果物 価格補償事業	特定野菜等供給産地 育成価格差補給事業	指定野菜価格 安定対策事業
H28年度	17,399,557	142,491	-
H29年度	22,770,374	0	-
H30年度	26,487,677	309,543	-
R元年度	23,319,898	77,797	2,025,000
R2年度	20,363,653	78,518	461,000
R3年度	40,833,665	0	11,734,000
R4年度	12,843,502	41,532	870,000